

3類型	鋳工業品及び鋳工業品の製造技術、 農林水産物	通巻番号	9-20-011
地域資源名	茶、沖縄島野菜(ゴーヤ、野菜パパイヤ)、 マンゴー、シークァーサー、パインアップル、 ハイビスカス、琉球泡盛、沖縄黒糖、沖縄の塩	認定日	平成21年3月6日
地域	沖縄県那覇市	所管省庁	農林水産省、経済産業省

事業名: 琉球泡盛を利用した沖縄県初の泡盛コーヒーの販路拡大と新規リキュールの開発

会社名: 久米仙酒造株式会社

所在地: 沖縄県那覇市仲井真155

連絡先: TEL: 098-832-3133

HP: <http://www.kumesen.co.jp/>

事業概要(新たな活用の視点)

・琉球泡盛を取り巻く環境の諸々の事情により非常に厳しい状況にある。しかし、リキュール市場は、近年大きく販売数を伸ばしてきている。そこで、本事業では、県産黒糖・茶・ハイビスカス・フルーツ等のリキュールを開発し、県内外への販路拡大を図る。



[泡盛コーヒー]

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

・リキュール市場は、国内外酒類メーカーが多数参入しているが、琉球泡盛の特徴である芳醇な風味を活かして、単一でなく複合的な香味に取り組んだ点が消費者に受けた。今後も、泡盛マイスターと連携し他の泡盛メーカーとは、一線を画した商品を開発していく。

◆市場性

・昨今、若者が甘くて飲みやすいリキュールを好む傾向にあるといわれており、今後も需要が伸びていくと考えられる。また、域外出荷の増加も見込まれ泡盛リキュールのような特色のある商品が市場で受け入れられると思われる。

◆販路

・県内外、海外の百貨店、量販店、飲食店、通信販売等広域的に販路を開拓していく。



[さとうきび畑風景]

地域資源における関係事業者との連携

・リキュールの製造にあたり泡盛マイスター協会や県内関連企業と連携し商品開発に努める。また、販路開拓のため沖縄物産企業連合よりマーケティング協力を受けていく。